

★ 国 分 自 治 会 ★



自治会連合会は、昭和 45 年岩手国体の次の年に作られました。当時は、13 くらいの自治会でした。昭和 54 年に元村南自治会の一町内会として国分町内会が誕生しました。当時の世帯数は 37 世帯で予算規模は 70 万円程度の小さな町内会でした。平成 2 年にサンシティ国分が団地開発により誕生したことにより世帯数が急増したことを受け、将来を見据え、平成 8 年 4 月に元村南自治会から分離独立し国分自治会として村登録を行いました。公選初代知事の国分謙吉氏が住んでいたことにちなんで名づけられている国分の地名を継承し「国分自治会」としました。

自治会発足当時から、我々が一番大切にしているものは、安全で安心な地域を目指すことであり、将来的に明るい地域を作ろうと考え自治会活動を続けております。平成 14 年に大雨による災害があり、地域のすぐ南側に隣接している木賊川が氾濫し、国分地域でも堤防にひびが入り、非常に心配し警戒を続けた経緯がありました。この経験を機に、災害時には、何が必要かを考え自主防災を考えるようになりました。災害が広域に渡る場合は、行政や警察、消防の支援がなかなか行き届かないことを踏まえ、災害時に地域を守るため自主防災会を平成 16 年に立ち上げました。当初は分からないことが多く、防災防犯課の担当から自主防災の考え方や進め方を教えてもらいながら自主防災会の活動を展開してきました。この結果、我々の取り組みが村内においてもモデル的な取り組みと認められるようになり、現在は、村内 21 の自治会に自主防災会設立されました。国分自治会の自主防災会は、村のお手本的な立場にあり、岩手県内各地の活発な活動として「元気なコミュニティ 100 選」にも認定され、県内外から視察にくる団体が多い中、昨年は、岩手県知事が、我々のコミュニティ活動を見たいということで、国分集会所にお出でいただき様々な取り組みをご説明申し上げたところ、知事からは元気な地域で、安心できる活発な活動が実施されているというお褒めの言葉をいただきました。

今年 3 月 11 日の未曾有の大震災では、若干の道路のひび割れはありましたが、家屋の倒壊はありませんでした。ただし、停電が長時間続いたこともあり、国分集会所を避難所として、自主防災会の役員と協力し合い炊き出し等を行い、二日間、地域の困っている方々を支援しました。これからも安全で安心な地域づくりを目指し、活動していきたいと思っております。

◎座談会を行いました



会長（司会） この地域は、国分団地が出来て20年が過ぎ、次の世代が育っている地域です。将来的には、高齢者の団地になるのか若者が集まれる団地になるのかを考えなくてはいけない時期でありますが、今の国分地域の状況をどう思われますか。

A 近くに病院やスーパーもありますし、非常に恵まれている部分ではありますが、地元で働く場所が無いというのが、寂しいと思います。

A 働く場所があっても住める場所が無いと駄目だと思います。若い世代は、安い家賃の所でないと住めないと思います。低所得の若者が住めるような村営住宅のようなものも必要でないでしょうか。

会長 今、村内には働く場所も低所得でも住める場所が無いなどのお話がありました。今日の参加いただいている若い方の考えをお聞きしたいと思います。

A 初めてこのような集まりに参加させていただきました。国分自治会は、活動が活発な自治会だと感じています。高齢化が進むということでしたが、高齢者が楽しく住むことができるよう地域になれば、私自身もこのまま国分団地にいたいなと思えると思います。

A 私は地域の方々に恵まれてラッキーだと感じています。楽しくソフトボール大会にも参加させていただきます。

A 若い方々にもこのような役員が集まる場や総会にたくさん出ていただくこと

により、今後の方針がうまく伝わっていけば世代交代につながるのではないのでしょうか。

A ソフトボールなり、球技大会なり、若い方々が参加できる事業を継続することが大切ですね。高校生や中学生もたくさん参加してくれています。

A 仕事で忙しいとは思いますが、今、働きざかりの若いお父さん、お母さんを巻き込むことが必要ですね。

A 私もそう思います。地域の仕事を知ってもらうためには、親が代表で事業に参加して、子ども達に言い聞かせる、伝えることが大事だと思います。

A 私は、自治会のソフトボールチームに入ったことをきっかけに、様々な事業に声を掛けていただき、今回も若者の話をぜひ聞かせてもらいたいということでこの座談会に参加させていただいています。実際、活動は楽しいですが自治会のことは何も分からないのが現状です。これからはもっと知る機会を与えていただきたいと思います。

A 他では青年部があり、夏祭りを企画しているような事例もあります。青年部を作って、夏祭りは青年部にお願いするというのも一つの案としてどうでしょうか。

会長（司会） 青年部というお話がありましたが、自治会として今後考えていかなければいけないテーマだと思います。本日は、いつもの役員を中心としたメンバーだけではなく、湯沢さんと樋口さんという若いお二人にも参加いただき、今、自治会に対して考えていることなど、非常に貴重なご意見をいただきました。高齢者から若い方々まですべての方が安全で安心して暮らせる地域にしていけるよう努力してまいりますし、それが自治会の役目だと思いますので、今後も、自治会活動へ皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い致します。